



人口	世帯	(12月1日現在)
人口	190,382人	(前月比+52人)
世帯	59,386世帯	(前月比+49世帯)



新たな気持ちでスタートです

元旦マラソン大会が

小田原城の周辺で

新年の行事として市民のみなさんに親しまれている「元旦マラソン大会」が今年も行われ、約六百人が小田原城の周りを巡るコースを元気に走りま

した。
このマラソン大会は、今年で十四回目を迎え、毎年子どもから大人までたくさんの方が参加しています。

午前十時、ピストルの合図とともに藤棚前をスタートした参加者は、天守閣がこずえの間に見え隠れするコースを三周から五周、自分に合った距離を選んで汗を流しました。

元気がいっぱい力走する人、マイペースで走る人と、新たな誓いを胸にそれぞれ頑張っていました。

寒さを吹き飛ばして初泳ぎ

今年も御幸の浜海岸で



明け方の冷たい水の中を元気に泳ぎました

恒例の「新春初泳ぎ」が元旦の朝御幸の浜海岸で行われ、小田原水泳協会員一十五人が海に入り初泳ぎをしました。

四十三回を迎える今年は、例年に比べ暖かかったもののあいにく曇り空で、初日の出は見えませんでした。

それでも海岸に集まったたくさんの人たちが見守る中、午前七時少し前に冷たい海の中へ入ると全員で輪になり、元気がいいに大きな声を掛け合いました。

泳ぎ終わった後、用意されたたき火で体を暖めている姿には、新しい年を気持ちよくスタートできたすがすがしさがあふれていました。

小田原

梅の里さんぽ

2月5日～28日



梅の里小田原の観梅行事は、今年も2月5日から28日までの24日間わたって開催されます。

春に先がけて3万本の梅の花が咲きほころぶ観我梅林と、梅の香が漂う静かなたたずまいの城址公園・天守閣周辺の梅林が、みなさんのお越しをお待ちしています。

◆問い合わせ 観光協会 ☎5002 観光課 ☎521

小田原市長選挙

投票日 2月5日

(午前7時～午後6時)

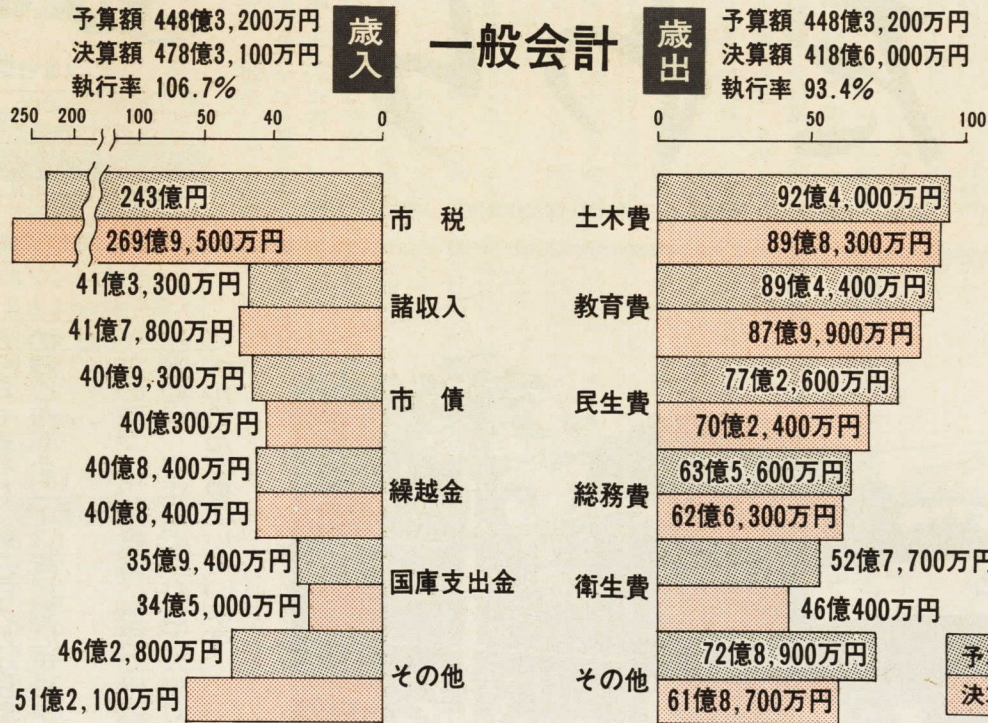
～みんなそろって投票しましょう～

小田原市選挙管理委員会

財政状況の公表

昭和62年度の決算状況

一般会計



市債の状況

教育債	92億5,900万円
土木債	54億800万円
衛生債	21億5,100万円
公営住宅債	15億4,800万円
下水道債	168億6,700万円
水道債	91億2,200万円
病院債	57億1,100万円
一般会計	207億5,400万円
特別会計	169億9,600万円
企業会計	148億3,300万円
計	525億8,300万円

年度上半期の執行状況

年4月1日～9月30日

一般会計

目	収入	執行率
税	128億5,100万円	48.5%
繰入金	59億7,100万円	139.4
支出金	12億1,800万円	34.2
料及び手数料	5億8,800万円	52.1
貸出金	3億6,900万円	22.0
収入	2億1,000万円	5.5
その他	10億5,300万円	15.5
計	222億6,000万円	46.6

科	支出	執行率
土木費	33億5,600万円	29.1%
総務費	33億4,200万円	36.5
民生費	30億8,700万円	40.0
教育費	28億1,600万円	44.8
衛生費	19億8,500万円	32.9
公債費	10億3,000万円	42.0
消防費	6億6,300万円	39.8
その他	10億400万円	35.0
合計	172億8,300万円	36.2

〔一般会計性質別状況〕

歳入	歳入	構成比	歳出	歳出	構成比
自主財源	378億1,600万円	79.1%	投資的経費	133億2,200万円	31.9%
依存財源	100億1,500万円	20.9%	人件費	110億5,100万円	26.4%
			物件費	43億8,700万円	10.5%
			扶助費	42億5,300万円	10.1%
			繰出金	24億7,900万円	5.9%
			公債費	21億1,900万円	5.1%
			補助費等	18億1,000万円	4.3%
			その他	24億3,900万円	5.8%

◎企業会計

＜水道会計＞

	予算額	決算額	執行率
収入	32億4,300万円	34億6,000万円	106.7%
支出	38億5,100万円	37億400万円	96.2%

給水量

	昭和62年度	昭和61年度	比率
給水量	21,224,595m³	20,456,143m³	103.8%

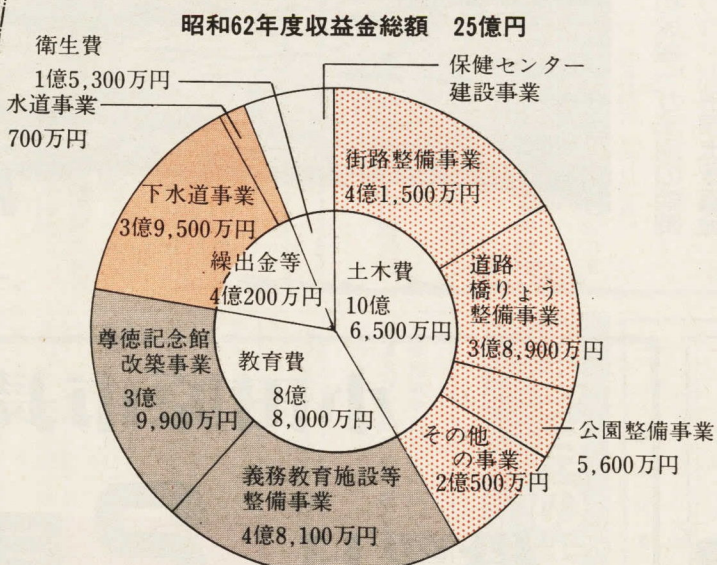
＜病院会計＞

	予算額	決算額	執行率
収入	69億8,400万円	71億3,400万円	102.1%
支出	80億2,600万円	78億1,700万円	97.4%

利用者数

区分	延人員	1日平均患者数
外来	365,064人	1,225.0人
入院	144,771人	395.5人

（競輪収益金の使途状況）



（市民の負担と持分）

	1人当たり	1世帯当たり
市税	142,972円	449,283円
長期借入金	278,490円	875,145円
市有財産	673,611円	2,116,800円

○人口 188,815人
 ○世帯 60,085世帯
 (63年3月31日 住民基本台帳調)

市は、みなさんに本市の財政について理解を深めていただくために、半年ごとに財政状況の公表を行っています。今回の公表は、昭和六十二年の決算と六十三年上半期の執行状況について、その概要はここに掲げた表やグラフのとおりです。なお、公表金額の単位については、金額が大きいので百万円単位で紹介してあります。詳しいことについては、財政課(☎33131)までお問い合わせください。

◎特別会計

会計名	予算額	決算額	執行率
競輪会計	239億6,500万円	歳入 244億1,900万円 歳出 232億9,600万円	101.9% 97.2
天守閣会計	1億1,000万円	歳入 1億8,300万円 歳出 9,600万円	166.4 87.3
下水道会計	67億7,600万円	歳入 67億3,700万円 歳出 66億1,700万円	99.4 97.7
国民健康保険会計	78億4,100万円	歳入 74億3,400万円 歳出 70億9,700万円	94.8 90.5
国保診療施設会計	3,300万円	歳入 3,400万円 歳出 2,800万円	103.0 84.8
農業共済会計	1億2,200万円	歳入 9,700万円 歳出 5,700万円	79.5 46.7
交通災害共済会計	7,300万円	歳入 7,200万円 歳出 6,900万円	98.6 94.5
卸売市場会計	3億600万円	歳入 2億9,800万円 歳出 2億6,200万円	97.4 85.6
老人保健会計	65億1,400万円	歳入 62億2,800万円 歳出 62億5,200万円	95.6 96.0

◎土地開発公社

区分	予算額	決算額	執行率
収入	56億7,400万円	53億2,900万円	93.9%
支出		52億8,300万円	93.1

貸借対照表

資産の部	負債・資本の部
土地	借入金等
64億3,600万円	53億7,800万円
その他	資本
11億3,500万円	21億9,300万円

◎学校建設公社

区分	予算額	決算額	執行率
収入	10億800万円	10億800万円	100.0%
支出		10億800万円	100.0

貸借対照表

資産の部	負債・資本の部
建物	借入金等
8億4,300万円	8億4,300万円
その他	資本
600万円	600万円

◎公益事業協会

区分	予算額	決算額	執行率
一般事業	収入	2,600万円	104.0%
会計	支出	2,400万円	96.0
特別事業	収入	7億4,200万円	100.5
会計	支出	7億2,000万円	97.6

特別会計

会計名	執行済額	執行率
競輪	134億6,800万円	65.8%
天守閣	106億4,800万円	52.0
下水道	1億4,300万円	125.4
下水道	4,200万円	36.8
下水道	8億7,400万円	12.1
下水道	15億7,100万円	21.8
健康	31億9,800万円	41.5
健康	27億2,400万円	35.3
診療	1,300万円	31.0
診療	1,700万円	40.5
共済	9,400万円	93.1
共済	9,400万円	93.1
災害	7,300万円	101.4
災害	4,200万円	58.3
市場	9,400万円	39.8
市場	1億300万円	43.6
保健	27億4,300万円	39.5
保健	28億6,700万円	41.3
水道	8,100万円	100.0
水道	3,800万円	46.9

農業共済事業特別会計は9月26日付けて廃止されました。

水道会計

項目	収入	執行率	支出	執行率
収入	32億4,300万円	43.2%	16億2,100万円	43.3%
支出				

給水量

項目	今期	前年度同期	比率
給水量	10,798,253m³	10,544,271m³	102.4%

病院会計

項目	収入	執行率	支出	執行率
収入	69億8,400万円	43.3%	27億6,100万円	36.7%
支出				

利用者数

区分	実人員	延人員	1日平均
外来	105,812人	188,348人	1,247人
入院	5,215人	72,060人	394人

資産の状況

土地	514億7,900万円
建物	376億1,000万円
工事	45億6,300万円
その他	1億1,400万円
計	90億6,200万円
土地	7億1,200万円
建物	246億7,000万円
工事	1,282億1,000万円

市職員の給与等の状況公表

給与等の状況公表

小田原市では、現在一千二百人余りの職員が、市民のみなさんの福祉向上を目指して様々な分野で働いています。これらの職員の給与等について、より一層のご理解をいただくために、その概要をお知らせします。お問い合わせは、職員課人事係(☎31241)へ。

給与の決定は法律に基づいて

職員の給与等は、地方公務員法やそのほかの法律により、国家公務員や他の市町村の職員の給与、民間企業の従業員等の賃金、そして生計費を考慮して、市の条例で定めることになっていきます。

また、市長や市議会議員などの特別職の報酬等は、学識

給与等の内容

経験者や市民の各層を代表する方で構成される小田原市特別報酬等審査会に諮り、市議会の審議を経て条例で定められます。(本文中の「一般行政職」は一般の事務職と技術職の総称で、医師・看護師等の医療職、消防職、技能労働職等を除きます)

ラスパイレス

指数は年々減少

自治省が公表するラスパイレス指数は、給料の支給水準を計る物指しです。これは、市の職員構成を国と同じと仮定して、市の給料総額を国の俸給総額で割った数値に100を掛けたものです。数値が大きいほど支給水準が高いと言えます。

六十二年度の本市の指数は109.6(国を100とし

特別職の報酬等は

市長、市議会議員等の特別職の報酬等は、六十年十月の改定後、据え置かれていたが、六十三年一月一日に改定されました。

- 市長 八〇万八〇〇〇円
- 副市長 四〇万八〇〇〇円
- 議員 三三万八〇〇〇円
- 六十二年度期末手当(市長、助役、収入役、議長、副議長、議員)
- 市長 五七万六〇〇〇円
- 副市長 二〇万七〇〇〇円
- 議員 一〇万五〇〇〇円
- 合計 五・三三三三三

職員の平均給料月額・平均給与月額及び平均年齢

区分	一般行政職			技能労働職		
	平均給料	平均給与	平均年齢	平均給料	平均給与	平均年齢
市	280,013	378,566	39.9歳	231,070	292,497	46.5歳
県	275,007	369,262	39.8歳	257,172	328,099	46.4歳
国	240,510		39.5歳	220,720		47.7歳

一般行政職の初任給

区分	市		県		国	
	初任給	採用2年後	初任給	採用2年後	初任給	採用2年後
大学卒	137,300	151,400	123,600	137,400	137,400	151,400
高校卒	113,600	123,600	102,700	109,500	99,500	105,900

一般行政職の経験年数別・学歴別平均給料月額

区分	経験年数別			
	経験5年	経験10年	経験15年	経験20年
大学卒	180,000	222,800	262,500	313,122
高校卒	143,900	186,900	230,200	271,646

表⑥ 一般行政職の職員に適用される一般職給料表(1)は、職務により一級八級に分かれています。「標準的な職務内容」とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

特別昇給
職員は、通常十二か月間良好な成績で勤務したとき昇給します(普通昇給期間は十二か月二十四か月)。この昇給期間を短縮する扱いとして、国に準じて、定年退職時における特別昇給、採用時の昇給期間の短縮があります。(1)職員数(2)特別昇給職員数(3)比率、かつ(4)六十一年度)

一般行政職の級別職員数

区分	63年4月1日現在							
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
標準的な職務内容	事務員 技術員	事務員 技術員	主任	主査	係長 担当主査	主幹	課長 補佐	部長 次長 参事
職員数	40人	128人	175人	155人	254人	35人	91人	35人
構成比	4.4%	14.0%	19.2%	17.0%	27.8%	3.8%	10.0%	3.8%
1年前	4.6%	13.5%	22.7%	11.7%	29.9%	2.6%	11.8%	3.7%

合計①二七八人(二六一人)②四四人(五一人)③一〇〇%(二・四%)

住居手当(六十二年四月一日現在、かつは国の支給額) 借家・借間(最高額) 持家 九三〇〇円(新築・購入後五年を経過するまで二五〇〇円、その他一〇〇〇円)

通勤手当(六十二年四月一日現在) 市と国は同額。交通機関と交通用具の併用者は交通機関等の利用者に準じて支給

交通機関等利用者 全額支給限度額 二万二〇〇〇円

最高支給限度額 二万六〇〇〇円

交通用具利用者 二キロ以上五キロ未満 二〇〇〇円

五キロ以上十キロ未満 三三〇〇円

十キロ以上 五〇〇〇円

時間外勤務手当 正規の勤務時間を超えて勤務したとき支給

六十二年一人当たり支給年額(かつは六十一年度) 二五万九五〇五円

特別勤務手当(六十二年) 著しく危険、困難、不健康な業務に従事したときに支給

職員全体に占める支給職員割合 五・六%

対象職員一人当たりの平均支給年額 三万七五六円

種類(手当数) 四十三種類

代表的な手当の名称

支給額の多い手当(1)医師手当、診療手当、研究手当

多くの職員に支給されている手当(2)看護手当、特殊施設勤務手当、清掃作業手当、技術手当

連載随筆「小田原入ッ子(おかし)」は4面に掲載してあります。

職員手当の状況

職員手当は、次の三つに分かれます。

(1)毎月決まって支給される手当(調整、扶養、住居、通勤、管理職手当など)

(2)勤務した実績に応じて支給される手当(時間外勤務、特殊勤務、宿日直手当など)

(3)臨時に支給される手当(期末、勤勉、退職手当など)

調整手当

六十二年四月一日現在、民間の賃金、物価生計費の事情を考慮して支給される手当で、給料と扶養手当、管理職手当の合計額の十パーセントを支給します。なお、管理職手当は管理職の職責に応じて給料の十五〜十八パーセント支給します。

支給対象地域 全域

支給率一〇%(国は〇%)

対象職員 全職員

一人当たりの平均支給年額 三十二万九七〇円(六十二年度決算)

扶養手当

六十二年四月一日現在、かつは国の支給額

配偶者 一万五〇〇〇円(二万五〇〇〇円)

配偶者以外の扶養親族のうち二人まで 五六〇〇円(四五〇〇円)

配偶者のない職員の扶養親族のうち一人 一万二〇〇円(一万円)

その他の扶養親族

勤勉手当

六十二年一人当たり支給年額(かつは六十一年度) 二五万九五〇五円

特別勤務手当(六十二年) 著しく危険、困難、不健康な業務に従事したときに支給

職員全体に占める支給職員割合 五・六%

対象職員一人当たりの平均支給年額 三万七五六円

種類(手当数) 四十三種類

代表的な手当の名称

支給額の多い手当(1)医師手当、診療手当、研究手当

多くの職員に支給されている手当(2)看護手当、特殊施設勤務手当、清掃作業手当、技術手当

退職手当

平均支給額は六十一年度の退職手当の平均額(1万円未満4捨5入)

勤続20年 21.0月分

勤続25年 28.375月分

勤続35年 48.125月分

最高限度額 60.0月分

その他 制度なし

加算措置 定年前早期退職特例措置(1年につき2%加算(最高20%))

退職時特別昇給 定年・勤奨1~2号給

平均支給額 111万円

期末手当・勤勉手当

区分	市		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.66月分	0.5月分	1.4月分	0.5月分
12月期	2.134月分	0.6月分	1.9月分	0.6月分
3月期	0.5月分	0.5月分	0.5月分	0.5月分
計	4.294月分	1.1月分	3.8月分	1.1月分
	5.394月分		4.9月分	

退職手当

平均支給額は六十一年度の退職手当の平均額(1万円未満4捨5入)

NHKと共催 歴史よもやま話

春日局と小田原藩

出演女優東てる美さんの対談も

30分〜3時30分

会場 中央公民館ホール

内容

- 対談 東てる美さん(女優・NHK大河ドラマ「春日局」で家康側室お勝の方役)・渋谷康生さん(NHKチーフプロデューサー「春日局」担当)
- 歴史紀行 フィルムによる春日局ゆかりの史跡紹介(解説は講談の神田紅さん)
- その他 「春日局」の番組のパネル展示や番組収録で使用している衣装等の紹介

入場 無料

応募方法

往復はがきに住所、氏名、電話番号(住所、氏名は返信用にも)を記入の上、〒2550小田原市荻窪300番地小田原市役所企画調整部文化室文化係までお送りください。はがき1枚で1人入場できます。なお、応募多数の場合は抽選です。

締切り 2月10日(必着)

問い合わせ 文化室文化係 ☎1703

日時 2月25日(午後1時)

市民会館市民招待公演

影絵劇 銀河鉄道の夜

2400人を無料招待

目録午後1時、2回目午後4時開演

会場 市民会館大ホール

対象 市内に住居登録をしている方

定員 いずれの公演も1200人(定員を超えた場合は抽選)

申込方法 往復はがきで。往信用には「銀河鉄道の夜申込み」、「1回目2回目の観覧希望の別」、「人数」を、また返信用には「申込者の住所、氏名」を記入の上、〒2550小田原市本町1-5-12小田原市民会館までお送りください。はがき1枚で大人1人、子ども2人まで入場できます。

締切り 1月31日(火)(当日消印有効)

問い合わせ 市民会館 ☎7146

企業 水道局 給電 病院 利用 市 公有財産 基物 企業会 総

小田原スケッチ今むかし ⑩

絵と文・小暮 次郎



毎年一月十一日は、小田原独特の「ダルマ落し」恒例の出初式が、御用邸前で行われた。

昔は公の消防施設もなく、各町内毎に手押しポンプの消防団が組織されていた。もちろん自動車ポンプもなく、ガソリンポンプすらない時代である。町内の団員は一応黒の木綿地の制服制帽で出場するが、近在の方は印半纏(しるしはんてん)に股引(ももひき)でねじり鉢巻(はちまき)という古風ないでたちである。また、梯子(はしご)を肩にバレンを廻しながら木遣(きやり)を歌うトビ職も威勢よく登場する。

ダルマさんを狙って

一斉放水(出初式)

お濠端には、二本の高い丸太の棒が立てられ、その先端に赤いダルマが上下に動くようになっていて、先に止木が付いているので、ダルマ落としといっても決して落ちない仕組みになっている。濠の向いは御用邸で、何人も一歩も中へは入れず、この日の見物人は、ただ遠くから眺めているだけやとである。だが、当時は娯楽に乏しかった時代だったので、人も多く、周辺には露店も出る賑いである。

さて、出初式の一通りの儀式が形通り終わると、いよいよ放水訓練が始まる。ポンプは三、四台が一組となって、



順次出場。やがて勇ましい軍隊式ラッパが場内に鳴りわたると、放水始めの合図となる。するとどのポンプも一斉に車台からドカンと地面に下ろされ、筒持ちは早くもダルマ目掛けて放水の位置につく。ワッショ〜と掛声がかかり、はじめのピッチは猛烈に速いので、ダルマさんは天に向かっ上りたり下りたり目まぐるしさである。在りや漁師街のポンプは、腕っ節が強いので、ダルマ(竹の籠に布張り)のケツに穴をあけたり、ひげを落したり、群衆からヤンヤの大喝采を浴びるが、

ちびっ子レポーターです

④

●レポーター
足柄小学校六年
川瀬晋太郎くん
青木 直子さん
●説明者
榎木財政課長

財政や予算ということばはテレビなどでは見るけれども、私たちにあまり関係がなさそうですが、暮しとどのような関係があるのかを知ろうと、財政課を訪問しました。



零が多いぶ厚い書類にちょっとびっくり

君たちのお家や市内にある会社や市民税と固定資産税などの税金です。

課長 市が独自で用意する自主財源と、国や県が出す補助金などの依存財源があります。自主財源の大きな部分は、

おしらせ

市のビデオを TVKで放映
市では、みなさんに市の様子や仕事を知っていただくため、広報ビデオを製作しています。

水道の修理は 公認業者へ
家庭の蛇口故障や水道管破裂などの修理は、知り合いの水道公認業者か、近くの水道公認業者へ直接申込みを。ただし、公認業者以外は修理できません。

伝言板
◆のしま映像フォーラム「スクリーンに見る女性の運命と時代」第4回
○日時 1月21日(土) 午後1時30分〜5時
○内容 映画「青い山脈」の上映と解説
○講師 松本侑子子さん
(共同通信文化記者)

おしらせ
◆読書フォーラム「少女小説の世界―吉谷信子をめぐって」
○日時 1月27日(金) 午前10時30分〜午後5時
○内容 講演、作品の解説、展示等
○講師 本田和子さん(お茶の水女子大学教授)ほか
○定員 80人(先着順)
◆申込み・問い合わせ 神奈川県立立川総合センター
(〒251 藤沢市江ノ島1-11-1 ☎0466-2211)

おしらせ
◆読書フォーラム「少女小説の世界―吉谷信子をめぐって」
○日時 1月27日(金) 午前10時30分〜午後5時
○内容 講演、作品の解説、展示等
○講師 本田和子さん(お茶の水女子大学教授)ほか
○定員 80人(先着順)
◆申込み・問い合わせ 神奈川県立立川総合センター
(〒251 藤沢市江ノ島1-11-1 ☎0466-2211)

おしらせ

春のご婚礼総合展

1月29日(日) 市民会館4・5・6階

◆内容 貸衣装・美容・着付け・写真・印刷・料理・引出物・旅行プラン・ビデオ・挙式に関する相談
◆問い合わせ 市民会館 ☎7146

◆町場のポンプの中には、居職者(自宅仕事をする職人)が多いため、力も弱くダルマまでの放水がやるといいう具合で、観衆から一斉に「ありや何だ、小便ポンプじゃあねえか」と野次がとび、この日は思わぬ赤っ恥をかき一幕もあった。